

# 富士しゃくなげ湖でボート合宿

国内トップレベルの実業団チームであるトヨタ紡織、デンソー(ともに愛知県)、明治安田生命(東京都)の3チームが5月1日(火)から5月12日(土)まで合同合宿を行いました。

合宿期間中、各チームの監督、選手の協力のもと、市内の小中学生を対象とした「ボート乗船体験会」と富士町内の「小中学生交流授業」を開催しました。



「ボート乗船体験会」では、選手と一緒に競技用ボートに乗り、自分の手でボートを漕いで湖面を回遊すると、子どもたちは笑顔いっぱい。

また、「交流授業」ではボートに関するクイズでボート競技への関心を深めた後、実際に競技用ボートに触れると子どもたちは目を輝かせていました。

続いて行われた選手との綱引き対決では選手のパワーを肌で感じ、最後に行われたボート漕ぎマシンによるリレー対決では会場のおちこちで声援が飛び交い、大盛り上がり!



▲国内トップレベルの選手たちとの交流は子どもたちにとって貴重な体験となった。



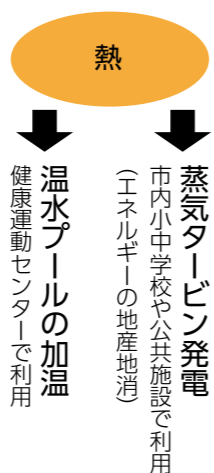
▲選手たちのパワーを肌で感じた綱引き対決

## バイオマスさがミニ講座③

今回は、バイオマス産業都市として取り組むもう一つの施設、清掃工場について紹介します。

○どんなことに取り組んでいるの?

清掃工場(ごみ焼却施設)では、ごみを焼却する際に発生する熱を利用して



ごみ焼却時の熱を利用することで、新たに環境への負担をかけず発電・加温しています。

○特長的な取り組み

(二酸化炭素の利用)

二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)は地球温暖化の原因物質と言われますが、植物の光合成促進や工業などに利用できます。清掃工場では、ごみ焼却時の排ガスから、純度99%以上の食品添加物の基準をクリアしたCO<sub>2</sub>を分離回収しています。現在、藻類の培養に活用しており、今後、野菜の栽培にも活用する予定です。

このように、佐賀市では、CO<sub>2</sub>を削減するだけでなく、資源として活用し、新たな産業を創出することを目指しています。



▲二酸化炭素分離回収設備

※まずは、3Rと言われるリデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル(Recycle)によるごみの減量が大切です。その上で、ごみとして適正に処理する過程から熱やエネルギーを生み出しています。

今回のポイント

ごみ焼却の際に発生する熱や二酸化炭素を利用し、環境への負荷軽減と経済性の両立を目指した取り組みを行っている。

◎問い合わせ

バイオマス産業都市推進課  
TEL 30・2431 FAX 30・1878  
biomass@city.saga.lg.jp

## 市内の高校生の皆さんに 路線バス「お試し券」付き 利用促進チラシを配布します

高校生の皆さんにバスのよさを知っていただくため、市内の路線バスで使用できる「お試し券(150円券2枚)」がついたバス利用促進チラシを配布します。

■対象・配布方法

- ①市内にある高校に通学する生徒  
高校を通じて直接配布。
- ②市外にある高校に通学する生徒  
(佐賀市民のみ)

住所、氏名、高校名、学年を記載し、生徒手帳の写しを添付の上、郵送、電子メール、またはファクスで申し込みをした人にチラシを郵送。一部の高校では事務室でも配布。

※事務室で配布している学校や詳しい申込方法は市ホームページをご覧ください。



4社の路線バスで利用できるよ!



◎問い合わせ  
スポーツ振興課  
スポーツコンベンション係  
TEL 40・7363 FAX 40・7375  
sports@city.saga.lg.jp

子どもたちはボート競技を身近に感じるとともに、仲間と協力し、応援するスポーツの良さを実感したことでしょう。

このような合宿で地域が盛り上がり、トップ選手とのふれあいを通じて、ボート競技に興味を持つ子どもたちが増え、その中から2023年の佐賀国体やオリンピックに出場する選手が出てくると嬉しいですね。



◎問い合わせ  
本庁 企画政策課  
TEL 40・7038 FAX 40・7381  
kikakuseisaku@city.saga.lg.jp

■利用できる路線  
市内を運行する4社の路線バス  
佐賀市営バス・昭和バス  
祐徳バス・西鉄バス  
※高速バスを除く。詳しい使用条件はチラシに記載。

■配布期間  
7月10日(火)まで

■利用期間  
6月18日(月)～7月13日(金)